

キャンピングカーの「快適さ」を約束する魔法のパーツ群

キャンピングカーには、電気、ガス、水道など普通の家庭と同じようなライフラインを備えているものが多い。だからこそキャンプ場やRVパーク、湯YOUパークなど、どんな場所においても、まるで家の中で過ごすような快適ライフが約束されている。その中には、不意の災害に見舞われたときに役立つものもあるので、備えているだけでも、いざというときに安心。普通の乗用車に比べ、キャンピングカーならではの“魔法の装備”にはどんなものがあるのか。その一部分をここでご紹介。

サブバッテリー



キャンピングカーは、自動車のエンジンを切った後でも、室内を照明で明るくしたり、テレビを見たり、冷蔵庫を使ったりすることができる。そのようなことが可能になるのは自動車用バッテリーとは別に、キャンピングカー室内の電気を使うための「サブバッテリー」というものを備えているから。ここに紹介するのは、代表的なディーブサイクルサブバッテリー。液式密閉型メンテナンスフリータイプ。参考価格18,900円

インバーター



キャンピングカーに搭載される電化製品の中には、一般家庭で供給される交流電源(AC)によって駆動するものも多い。それらの機器を車内で使うために用意されているのが、自動車供給する直流電力(DC)を交流に変換するインバーター。特に正弦波インバーターならマイコン制御の電子機器も使用できるので便利。50Hz/60Hz切り替え式。1500W。参考価格135,450円

LED照明



キャンピングカーの照明は、これまで蛍光灯、白熱灯などでまかなわれてきたが、近年急速に普及してきたのがLED照明。電球としての寿命が長いだけでなく、消費電力が極端に少ないため、サブバッテリーへの負担もかたげず、キャンピングカーの室内照明としては理想的。

発電機



発電機は、AC電源の供給のないところでもエアコン、電子レンジなどの大容量家電製品を安心して駆動できる機器。特にハンディタイプのポータブル発電機なら持ち運びも楽。多少の作動音が発生するので使用する場所が制限されることもあるが、1台あれば、災害によって電気の供給が止まったときにも緊急電源として使えるので安心。参考価格207,900円

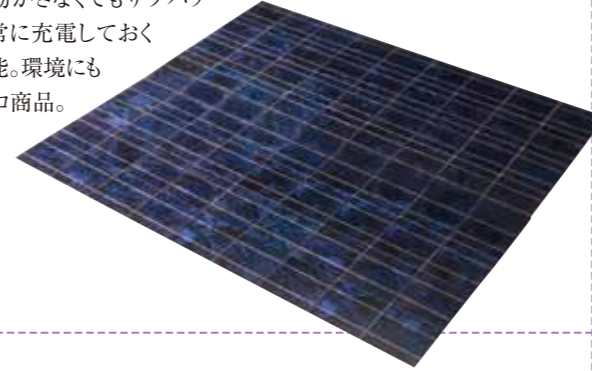
防虫ネット



キャンピングカーの窓やドアを開放したままでも、防虫ネットがあれば嫌な害虫に悩まされることがないので、夏のキャンプには必需品。参考価格14,700円～

ソーラーパネル

キャンピングカーにソーラーを取り付けておけば、クルマを動かさなくてもサブバッテリーを常に充電しておくことが可能。環境にも優しいエコ商品。



DC12V電子レンジ

電子レンジは、キャンピングカーの車内で食事を楽しむ時の必需品。ここに紹介するタイプは、DC12VのほかAC100Vでも使用可。高出力インバーター不要で経済的。持ち運びのできるコンパクト設計。色も4色の中から選べる。



ポータブル3ウェイ冷蔵庫

家で使う場合はAC100V、クルマの中ではシガーライターからのDC12V、屋外に出たらカセットガスと、その場に応じた3通りの使い方ができる便利なポータブル冷蔵庫。容量は33リットル(1.5リットルのペットボトル9本)。重量は15kg。参考価格49,800円



ゴミ収納BOX

出先のゴミや車内に置きたくない荷物やちょっとした濡れ物、臭い物の収納などに役立つゴミ収納BOX。後部の金具でラダーにひっかけて固定できる。FRP製なので劣化しにくい。容量は約40リットル。参考価格15,750円



テントルーム

サイドオーニングの下にテーブルと椅子を出すだけでくつろげる空間が生まれるテントルーム。キャンピングカーの隣りに「もうひとつの部屋」ができる。夏にも冬にも快適。キャンプ用、バンコン用がある。参考価格(バンコン用2.5m)45,150円



ポータブルトイレ

キャンプはもちろん、災害や介護などにも最適な持ち運び可能なトイレ。清水タンク15リットル。排水タンク12リットル。参考価格13,545円



3連カセットガス供給機

市販のカセットガスを3本セットしてLPガス器具を使用できる便利な機器。参考価格17,850円



シェード

キャンピングカー泊を暑さ・寒さから守り、プライバシーも確保するシェード。断熱効果も高い7層構造。透け防止の黒い吸盤でワンタッチの簡単装着。参考価格はフロントセットで12,600円～



※ 参考価格が表示されていても小売価格は各キャンピングカーおよびパーツ販売店によって異なる場合がありますので、実際の購入にあたっては最寄りの販売店にお問い合わせください。